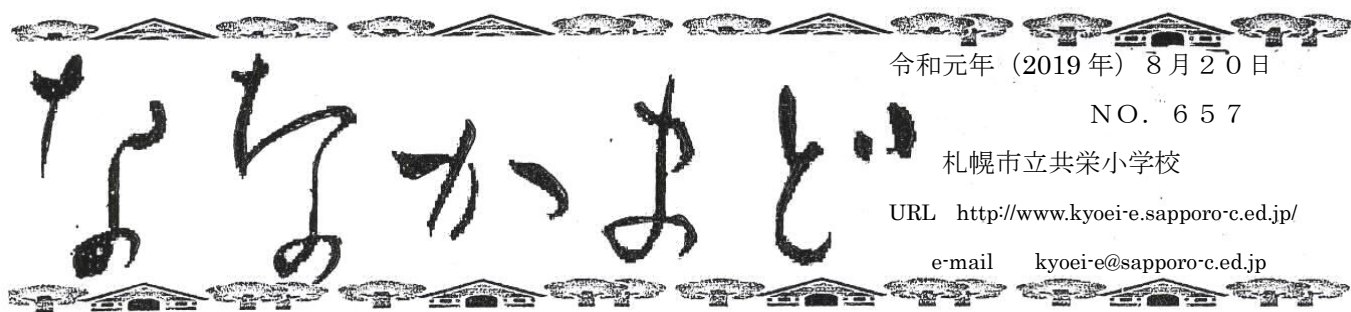




令和元年（2019年）8月20日

NO. 657

札幌市立共栄小学校

URL <http://www.kyoei-e.sapporo-c.ed.jp/>

e-mail kyoei-e@sapporo-c.ed.jp

学びが深まる授業

研修部長 高橋 葉資

学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。いよいよ2学期のスタートです。

本校では研究主題を「学び合い高め合う子の育成」、研究副主題を「思いがからみ合い学びが深まる授業づくり」としています。学び合い・高め合いに欠かせないのは、仲間や先生の実在です。分からなかったことが仲間と話す中で「なるほど!」「そうか!」と納得できたり、分かっていたことでも仲間の考えを聴き、先生の問いかけに対して考えることを通して視点が広がったりすることで学びがより確かなものとなります。そういった場面を授業の中にできるだけたくさん設定することで、子どもたちは学ぶ楽しさと認められる喜びを感じ、「もっと知りたい」「もっとやってみたい」と主体的に学ぶようになるのです。

この願いを全教職員で共有し、よりよい授業を目指すため、さくら学級を含めて全学年が校内の先生方に授業を公開して学び合いの場を設けています。1学期には4年生と2年生が、共に算数の授業を公開しました。4年生は、問題を自分で解いた後にグループの仲間と交流する時間を設けました。「そうやって考えればいいんだ!」「あまりが大きくなっちゃう時はどうすればいいの?」と、どのグループからも活発に話し合う声が聞こえてきました。2年生は、ブロックやおはじきを使って図と式を結び付けて考えられるような手立てをとりました。「 $6+5+4$ じゃなくて、 $6+5+2+2$ だと思います。」「いろいろな考え方があるんだね!」と、こちら子どもたちから様々な考えがでてきました。



このように、授業では同じ問題・課題に一人一人が向き合いますが、解決するまでの過程で必ず多種多様な子どもたちの考えが生まれます。私たち教師がそれをクラス全体へ広げ、たくさんの考え方に触れる場面を作ること、自分だけでは分からなかったことが分かったり、自分の中にはなかった考え方に会ったりすることができ、仲間と学ぶことの楽しさを感じることが出来ます。一人で問題を解いたり、教科書を読んだりするだけよりも、仲間と共に考えを伝え合うことで学習が深まっていくのです。これこそが、学校で学ぶ・集団で学ぶことのよさではないでしょうか。

授業公開後の話し合いでは、授業の中でとられていた手立ては有効だったか、よりよい手立てはないか、教師の問いかけや言葉かけは学び合い・高め合いを促すものになっていたかなど、活発な意見交流がなされます。



このような取組を行うことで、学校全体で学習の方向性が統一され、どの先生が授業をしても目指すところは同じとなり、どの学年であっても、進級しても、子どもたちが安心して学習に臨むことができると考えています。2学期には、4年生と2年生以外の学年・学級でも授業公開が行われます。学び合い高め合う子どもたちを育てていくために、私たち教職員も学び合い高め合いながら、日々の教育活動に取り組んでいきますので、ご家庭では「まほうのかいわ」の取組を引き続き行ってください。2学期もどうぞよろしくお願いします。